

～技術が未来を拓く～ 『テクニカルショウヨコハマ2022』を開催します

首都圏最大級の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ 2022」をリアル展示とオンライン展示を組み合わせたハイブリッド展示にて開催します。リアル展示は2年ぶりとなります。

リアル展示会場では、事前登録による来場者管理、入場制限、マスク着用、手指消毒、検温チェックにより新型コロナウイルス感染予防対策に取り組めます。

ものづくりを担う市内企業の「横浜ものづくりゾーン」では、脱炭素エリアを設け、脱炭素に取り組む企業をPRします。

1 テクニカルショウヨコハマ開催概要

- (1) 会 期 2月2日（水）～2月4日（金）10：00～17：00【リアル展示】
2月2日（水）～2月10日（木）【オンライン展示】
- (2) 会 場 パシフィコ横浜展示ホールA・B・C（13,300㎡）
（横浜市西区みなとみらい1-1-1）
- (3) 出展分野 ニューWorking・Lifeスタイル／カーボンニュートラル（新設）、ビジネス支援、研究開発、機器・装置・製品、加工技術、DX・AI・IoT、ロボット
- (4) 出 展 数 約660社・団体（うちオンライン展示のみは約110社）
- (5) 出展小間数 約460小間
- (6) 入 場 料 無料
- (7) 主 催 公益財団法人神奈川産業振興センター、一般社団法人横浜市工業会連合会、
神奈川県、横浜市（順不同）



出展者・出展内容詳細は
コチラをご覧ください。

<https://www.tech-yokohama.jp/>



【2020年開催の様子】

裏面あり

2 主な見どころ

(1) 横浜ものづくりゾーン

横浜市は「テクニカルショウヨコハマ 2022」内に「横浜ものづくりゾーン」を設置し、横浜の「ものづくり」をけん引する企業の技術や製品を紹介、展示します。

■出展者数 約40社・団体

■横浜ものづくりゾーンの特徴

- ・会場内最大規模のエリアです。
- ・会期中は経験豊富なセールスサポートスタッフが常駐し、来場者のニーズをお伺いし、マッチする出展者へとつなぎます。
- ・脱炭素に取り組む企業の活動をパネル展示し、PRします。

(2) I・TOP横浜ゾーン

「I・TOP横浜ゾーン」では、IoT や AI などを活用したビジネス創出を目指すプラットフォームのI・TOP横浜（※）に参画する企業・団体等から、**製造業向けの生産性向上に寄与する製品等**に関する展示を行います。

一昨年と同様に、神奈川県内のIT企業が集まり産業の発展や地域社会への貢献を目指す「神奈川県情報サービス産業協会」、横浜商工会議所の情報サービス業が集まる情報関連産業部会の企業からも出展が行われます。

■ 出展者数 約35社・団体

■I・TOP横浜ゾーンの特徴

業務効率化や製造現場の見える化、AIによる画像解析や品質評価といったサービスなど、主に中小製造業の現場で活用できる、IoT等の製品をご紹介します。

生産性向上等でお悩みの方は、ぜひ当ゾーンまでお越しください。

I・TOP横浜
IoT Open Innovation Partners YOKOHAMA

※I・TOP横浜（IoT オープンイノベーション・パートナーズ）とは

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。 詳細URL：<https://itop.yokohama/>

■取材対応について

取材を希望される方は、当日直接総合受付にお越しください。

お問合せ先

経済局ものづくり支援課長	瀧澤 恭和	Tel 045-671-3839
経済局産業連携推進課担当課長	佐藤 慎一	Tel 045-671-3591 (I・TOP横浜に関すること)